

# BBL NEWS

Bilingual Business Leader Program

RIKKYO  
COB  
立教大学 経営学部 国際経営学科  
Department of Global Business, College of Business, Rikkyo University  
第16巻第2号(通算43号) 2023年3月7日発行 <http://cob.rikkyo.ac.jp/>

## 2023年度ABP – 協力企業は現在急成長中のベンチャー企業 セーフイー株式会社に決定

2023年度の「Advanced Business Project」(担当:トンプソン准教授)は春学期に開講される予定ですが、この度プロジェクト・クライアントとして授業に協力して下さる企業が、セーフイー株式会社 (Safie Inc.) に決定しました。

セーフイーはクラウド録画型映像プラットフォームの開発・運営および関連サービスを提供する会社で、防犯カメラで撮影した映像をクラウドに保存できる「クラウド録画サービス」では国内シェア No.1\*を誇る、現在急成長中のベンチャー企業です。

\*テクノ・システム・リサーチ社調べ「ネットワークカメラのクラウド録画サービス市場調査 (2022)」より、エンジン別カメラ登録台数ベースのシェア (56.4%)



### 2023年度 ABP 春学期スケジュール

キックオフ (4月21日)	セーフイーのご担当者様から履修生に向けて、プロジェクトのテーマについて英語で詳しくご説明いただけます。
中間発表 (6月2日)	履修生は現状分析などを通してプランを作成し、セーフイーのご担当者様に向けて英語で中間発表。現段階のプランについてフィードバックをいただけます。
最終発表 (6月30日)	中間発表の結果を踏まえ、各チームは最終案を作成し、セーフイーの取締役およびスタッフの方々に向けて英語で発表します。
振り返り (7月7日)	結果の良し悪しよりも、自分の良かった点、伸ばすべき点を互いに話し合い、今後のモチベーション向上に導きます。

### 履修申込期間：2023年3月17日(金) 9:00～3月20日(月) 17:00

この授業の魅力は、経営学部で学んだ理論を、実践の場で応用するスキルが磨けることです。そのうえ、経営学部生の他、GLAPの学生、留学生も履修するため、さまざまな人々と協働する力や国際ビジネスシーンで活用できるスキルも養うことができます。3年・4年次生の皆さん、実社会へ出る前に、ぜひグローバル環境で働く疑似体験をし、今後の進路選択に役立ててみませんか。ご応募をお待ちしています。

## BBL スタッフの一部が変わりました

3月に Nerys Rees、Mona Syrbe が退任し、4月より BBL スタッフに Xinqi He (キンキ・カ)、Kelly Cargos (ケリー・カーゴス) が新たなメンバーとして加わります。両名ともに Introduction to BBL、EAP1、Overseas EAP、EAP2、ESP の授業を担当します。どうぞよろしくお願いいたします。

### Message from the new BBL Teachers

#### BBL 助教 Xinqi He

I came to Japan in 2014 for graduate school studies and finished my PhD in the field of sociolinguistics at the University of Tokyo. With a research interest in critical theories, I integrate critical thinking in language education to raise students' awareness of social issues in their everyday lives. Through academic and management integrated education in the BBL program, I hope to contribute to cultivating students not merely as people who speak English and do business, but as people capable of engaging in business while considering global issues that concern other members of society.

After teaching at various universities, I am always surprised by the creativity and curiosity of my students.

I am really looking forward to knowing and learning together with all of the students in the BBL program.



#### BBL 助教 Kelly Cargos

I grew up in the USA in the state of Connecticut, not far from New York City. In 2013, I moved to Japan to begin my teaching career. At first, I worked as an English instructor at a nonprofit school in central Tokyo. I received my MSc in Applied Linguistics from the University of Oxford and started teaching at the university level. My research thus far has focused on Global Englishes and teacher development.

When I am not busy teaching or doing research, I try to spend time outdoors. I am an avid runner, and I have completed a number of half-marathon and full-marathon races in Japan.

It is my honor and privilege to work along the talented faculty of the BBL Program. I hope to lend my professional experience and expertise to help prepare our students to become business leaders on the global stage.



## Overseas EAP 短期留学プログラム — 事前研修を終えオーストラリアへ無事出発

2020年以来2年間中断していたOverseas EAP 短期留学プログラム(経営学部1年次生対象)が、いよいよ再開し、履修申込をした57名(経営学科11名、国際経営学科46名)は、この度4カ月間の事前研修を無事終了し、2023年2月初めにオーストラリアへ旅立って行きました。派遣生は2つのグループに分かれ、3週間の予定でクイーンズランド工科大学(QUT)とウーロンゴン大学(UOW)の2校で学びます。

### ◆ 秋学期 — 事前研修 ◆

**QUT 派遣 — 国際経営学科1年次生**  
渡辺 明日香さん (埼玉県立和光国際高等学校卒)

11月16日と30日の2日間にわたり、Nathan DeWitt氏をお招きし、Overseas EAPのGuest Lectureが開催されました。DeWitt氏はグローバル人材開発に特化したコンサルティング会社に勤務されており、グローバルな人々が集まる環境で、文化の違いを超えて円滑にコミュニケーションする方法についてご講義いただきました。特に、前向きで、オープンで、自信があることを態度で表すことが重要であるということと、会話の中で質問、回答、追加で話す、というサイクルが重要であると学びました。日本では、初対面で自信たっぷりに振舞うことや、自分のアイデアや意見をたくさん話すことはあまり好まれません、文化が異なる環境では、相手に好印象を与えることができると学びました。ここでの学びを活かして、2月のオーストラリア留学に挑みたいのです。



●ゲストレクチャーの様子

### ◆ 春休み期間 3週間 — 現地留学プログラム ◆

**QUT 派遣 — 国際経営学科1年次生** 吉江 恵さん (神奈川県立麻生総合高等学校卒)

現地では暖かいホストファミリーに迎えられ、到着してまだ数日ですが、すでに多くの観光地を訪れました。街や大学では現地の人々と触れ合い、たくさんの異文化交流を行いました。また、学習面では基礎的な英文法を学ぶとともに、SWOT分析やプレゼンテーションなどを行い、英語力とビジネスリテラシーの両方の向上に努めています。プログラムの最後には最終プレゼンテーションがあるので、現地企業を深く分析して臨みたいと思います。



●ホストファミリーと

**UOW 派遣 — 国際経営学科1年次生** 寺田 穂乃さん (国府台女子学院高等部卒)

UOWでは、主に英語の授業とファイナルプレゼンテーションに向けた研修などのプログラムを受講しています。座学だけではなく、実際に分析する企業を訪問するなど、貴重な体験もさせていただきました。放課後はグループワークをしたり、ショッピングに行ったりしています。土日はホストファミリーや友達と過ごします。シドニーに行ったり、ビーチでBBQをしたり、毎日英語で生活するのは大変ですが、楽しく過ごしています。



●週末のシドニーで

## 学部間交換留学 — 留学レポート

### ノルウェーのBI経営大学に留学

**国際経営学科3年次生** 佐野 義尋さん

ノルウェーの首都オスロにあるBI経営大学に来てから、7ヶ月が経ちました。オスロは静かで自然も多く、治安もよい街です。

BI経営大学は、学費が必要な私立大学ということもあり、レベルの高い教授や学生、また世界各国にあるハイレベルな経営大学からの留学生が集まっています。授業内でも積極的な発言や参加が求められており、立教の国際経営学科にある英語での授業、特にBBL科目の授業で培ったリスニング力、発言力、文章の構成力が役立っていると感じています。また、全く異なるバックグラウンドを持っている留学生たちと、自分の信じていること、価値観などを話し合う機会も多く、学問や英語の面だけでなく、人間としても成長している気がします。

留学前は、就活のこともあり、3年生での1年間の留学が不安でしたが、このように日本ではできない、また社会人になってからでは難しい貴重な経験をする事ができ、このような機会を提供し、サポートして下さる経営学部へ感謝しています。今後は、残りの数ヶ月も精一杯楽しみ、学問と人間性の両方においてさらに成長し、また帰国後予定している立教の大学院で、グローバルな環境で経営学をさらに深く学びたいと考えています。



●大学の友人と(右端)

### 英国のスターリング大学に留学

**国際経営学科3年次生** 星山 遥香さん (神奈川県立横須賀高等学校卒)

英国北部スコットランドの豊かな自然と中世の歴史に囲まれた、キャンパスが美しいスターリング大学には、世界各地から学生が集まります。私もその一人として半期留学をし、将来につながる多くの自信と学びを得ることができました。特に、知らない場所に一人で飛び込み、日々自分自身と向き合いながら、意思を持って自ら行動を起こし続けたことで、様々な背景や考え方を持つ友人と出会い、互いに学び合い、支え合う、貴重な経験をする事ができました。その結果、物事の見え方が変わり、視野が広がり、そのうえ自信を持てることが増えました。

また、これまでBBLで培ってきた「英語×専門性×自分らしさ」が世界に通用する武器となる、と確信することができたことは、将来世界を舞台に働きたいと考えている私にとって、今後に生きる最大の学びとなりました。さまざまな人との出会いや対話を通して、英語ができることは当たり前であり、そのうえで自分は何ができて、どんな魅力を持っているのかということが、真にグローバルに活躍するために重要であると実感したからです。

今回の留学で得られたものを継続して磨いていくことで、今後に活かしていきたいです。



●友人とグラスゴー観光(左端)

## カナダのケベック大学モントリオール校に留学

経営学科 2 年次生 大貫 未紗さん (立教女学院高等学校卒)

私が現在留学している大学は、カナダのケベック州最大の都市モントリオールにあります。ケベック州は、公用語として英語の他にフランス語を用いています。レストランに入った時の挨拶が "Bonjour Hi!" なのは、カナダ中でケベックだけではないでしょうか。

大学の授業では、講義中に質問を投げかけられたり、ディスカッションの時間があつたりと、学生が自ら考え表現する機会を沢山与えてくれます。留学前に受講した少人数制の EAP で、授業中に発言し積極的に議論する姿勢を学んだおかげで、留学先でも臆せずに意見を発することができています。

また、こちらの授業ではグループプロジェクトとしてレポートの提出を求められることが多いのですが、EAP で学んだ APA スタイルの引用方法が非常に役に立っています。

さまざまな国の友達と出会い、文化や価値観の違いに日々刺激を受けているうちに、あっという間に 5 ヶ月が経ちました。残り 4 ヶ月の限られた留学生活ですが、後悔のないように精一杯やり切りたいと思います。



●モンロワイル山にて大学の友人と  
(大貫さんは前列左端)

## 活躍の場を世界に見いだす卒業生たち

大学在学中に留学を検討する際、卒業後の進路まで具体的に考えて検討する学生はどのくらいいるのでしょうか。そのまま大学院に進む、もしくは外資や日系企業の海外事業部門で活躍する、というのが一般的なイメージかと思いますが、今号では留学を機に海外での就職を選択した卒業生 2 名に焦点を当て、なぜその選択肢を選んだのか、現地で重ねた努力など、卒業後から今に至るまでの経緯を報告していただきました。

国際経営学科 2015 年度入学 眞武 美菜さん (東京都立国際高等学校卒)

大学 2 年生の時にフランスのリールに 1 年間、4 年生の時に半年間コペンハーゲンで留学をしていました。卒業後はそのままコペンハーゲンに残りたいと思い、現地のインターンシップを始めました。その後、正社員となり今に至ります。

高校、大学と国際色豊かな環境で過ごすことが多かったため、海外で暮らしてみたいという気持ちは常にありました。2 度の留学を経験して、海外で生活することに違和感を覚え、むしろ現実的に感じられたので、こちらでの就職を決めました。立教大学の授業でも実際の会社や、生のビジネス英語に触れる機会も多かったため、留学中に、より実践的な授業を選択した際も、一層吸収力が大きかったかなと思います。

現在はインターナショナルな同僚が多い、スタートアップの企業で働いているのですが、スピード感も早く毎日が刺激的です。新卒でいきなり海外就職は大変な部分もちろんありますが、せっかくなら留学経験を活かしてチャレンジしてみるのも良いかもしれません。



●インターンシップ中にオペラ座の前で

国際経営学科 2016 年度入学 中津 伶嘉さん (神戸市立萱合高等学校卒)

私が海外に興味を持ち始めたのは、高校在学中に交換留学した時でした。アメリカの学生が自分の意見を自信満々に発表している様子や、アメリカの女性が颯爽と働いている姿に憧れ、もっとこの文化に触れてみたいと思いました。

立教大学の留学プログラムを利用し、大学 1 年生の時にオーストラリアへ短期留学し (Overseas EAP)、2 年生の時にアメリカのケンタッキー州へ学部間交換留学をしました。EAP のクラスで習得したプレゼンテーションスキルとアカデミックライティングスキルは、留学中にとっても役立ちました。現地で学ぶうちに、将来は海外で暮らしながら価値提供したい、という願望が強くなりました。

日本に帰国後は、アメリカで就職できる方法をいくつか模索しましたが、一番効率的だったのはアメリカの大学院留学でした。修士号を 1 年半で習得することができる上、STEM 系なら 3 年間の就労ビザがもらえるメリットがありました。また、インターンシップでデータの重要性を学んだため、アメリカで注目が集まっていたデータサイエンス系を専攻することにしました。

日本の文系からアメリカの理系大学院に進学するには、勉強面だけではなく、情報収集でも苦労しました。自分のような進路選択をする人は他に少なく、前例を参考にすることができなかったため、経営学部の教授をはじめ事務局を訪ねて情報収集し、推薦書をお願いしました。

立教大学を卒業すると同時に、第一志望だったコロンビア大学のデータ分析専攻に合格することができました。コロンビア大学では人生の 20 倍くらいの勉強をしていたように感じています。努力が実を結び、2022 年 12 月無事大学院を卒業でき、今年の 3 月からは米国の EC 業界でデータアナリストとして働きます。

経営学部の留学制度と BBL 科目の授業のおかげで視野が広がり、はっきりとした人生の目標を立てることができました。今後もっと多くの学生が経営学部および BBL のリソースを最大限に活用しつつ、自分の夢に向かって邁進していただきたいと思います。



●アマゾンとコロンビア大学が合同開催した Hackathon で、ファナリストとしてプレゼンテーション  
(中津さんは前列左端、教授とチームメイトとともに)

## 第 28 回 CLUB 900 表彰式を対面で開催

2023年1月30日、第28回目 CLUB 900 表彰式を太刀川記念館カンファレンスルームにて開催致しました。ここ6か月間に TOEIC® L&R テストで900点以上を取得した経営学部生64名には、経営学部から表彰状とメダル、TOEIC® テストの実施団体である(財)国際ビジネスコミュニケーション協会(IIBC)様から記念品が授与されました。

国際経営学科4年次生の志水千紘さんと経営学科4年次生の矢野 譲士さんが、このたび見事8回目の受賞をし、入学以来、学内で開催される全ての TOEIC® 試験を受験し、900点以上を継続して取得されるという、輝かしい記録を達成されました。

また、受賞学生を代表して国際経営学科4年次生の大西海渡さんが英語で素晴らしいスピーチをされ、スコアアップができたのも BBL プログラム他、自分を支えてくれた人たちのお蔭と謝辞を述べました。

記念撮影終了後、参加者は会場にそのまま残って歓談し、和やかな雰囲気うちに閉会しました。

次回7月末に開催予定の第29回表彰式では、さらに多くの学生が CLUB 900 入りすることを期待しています。



●写真撮影時のみマスクを外していただきました

CLUB 900 表彰者名簿 (2023年1月30日)			
国際経営1年	深堀 雄太 小口 香奈 渡邊 凛太郎 芝田 彩 山本 ヴィトル 鈴木 凜	満谷 咲良 高原 風音 佐藤 英連 守田 悠希 新井 るみあ 林 真衣	佐々木 紗瑛 菊田 龍生 碓 裕幹 上田 貴悠 中山 寛生 田邊 慶一郎
経営1年	中山 裕太	小木曾 雄龍寿	江連 蒼乃
国際経営2年	加藤 公香 湯浅 綾 久富 葉菜乃 松尾 直輝 山本 もも 村北 絵梨菜 荒川 真衣 那須 萌花 笠神 幸花	大川 日菜子 渡邊 瑛 米間 高志郎 北爪 棕祐 加藤 瑞己 坂本 かりん 小林 陽成 グライナー オリビア サキ 関 麻衣香	プランチ 理央 我妻 優宇 山田 水無歩 高田 遥 瀬町 奈々美 酒井 愛菜
国際経営3年	仙波 来唯 水田 いぶき	安田 詩温 福島 光平	宮本 理緒
経営3年	槇島 海月		
国際経営4年	花田 碧未 佐藤 優佳 志水 千紘	亀津 拓人 オ ソビン 成田 証暉	三瓶 峻 大西 海渡 坂本 理彩
経営4年	所 杏樹 藤田 里佳	矢野 譲士	山村 眞弘

## 卒業を迎える4年次生 — BBLプログラムを振り返って

### 経営学科4年次生 井手 華子さん (聖セシリア女子高等学校卒)



私はBBLプログラムを通して、グローバル基準の実践的なビジネススキルを身につけることができたと考えています。経営学科に所属しているため、自動登録科目であるBLP(ビジネス・リーダーシップ・プログラム)で日本語によるリーダーシップや論理思考を学びました。それに加え、国際経営学科の基幹科目であるOverseas EAPとABPを履修したことにより、BLPでの学びを活かしながら、英語での実践的なアウトプットを行うことができました。特に、BBL科目の最終段階であ

るABPでは、実際に外部の企業に対してコンサルティングを行い、現状分析から企画、提案まで、グループワークを含めた全てを英語で実施しました。この経験では、ハイレベルなビジネスコミュニケーションスキルや、プレゼンスキルの身につけることができただけでなく、就職活動にも活かすことができました。

授業外においてもBBL事務局で映像制作をさせていただくなど、BBLを通してたくさんの素敵なメンバーや教授との出会いがありました。

私は4月から、外資系の総合コンサルティング企業に就職予定です。BBLでの経験を活かし、世界で活躍できる人材を目指して、今後も様々なことにチャレンジしていきたいと思っています。

### 国際経営学科4年次生 大西 海渡さん (立教新座高等学校卒)



BBLプログラムを通じて、気づいたら英語ができるようになっていた。これが私の正直な気持ちです。入学当初から、BBLではチャレンジの連続でした。当時の英語力はTOEIC®500点代で、授業の5割しか理解できていませんでした。ただ、その環境が私にとっては逆に追い風になりました。どうせ分からないなら発言して間違えてみようと思えたからです。その結果、OEAPではクラスリーダーを任されたり、経営学部公認の留学生支援団体COBBYでは代表を務めたりと、想像も

しなかった刺激的な経験ができました。たとえ英語力で劣っていても、チャレンジ精神やリーダーシップが周囲に認められたのだと思います。また、卒業後はフランス系のITカンパニーで働くため、グローバルチームで成果を出す経験がたく、4年次にAdvanced Business Projectを履修しました。スウェーデン・韓国・ベトナムといった多様な国の留学生と協力し、LVMH Fragrance Brandsの皆様に、英語でマーケティングプランの提案をしました。このような挑戦の積み重ねで、CLUB 900の仲間入りを果たしました。

決して自分だけの力ではなく、沢山の支えがあって成長できたと心から感謝しています。